

スクーバ器材のセッティング技能評定表

チーム： _____

減点総得点

自己申告タイム(a)

セッティング評定(c)

計測タイム(b)

減点数

- ・動作の正確さの評定：「○、△、×」とし、それぞれ、「0点、1点、3点」減点する
 ○・・・正確であった △・・・不十分である ×・・・動作をしていない
- ・セッティング手順は問わない。ただし、それぞれで器材をセットした後、ボディチェックを行うこと。

セッティングの手順・動作の正確さ	チェック欄
1) タンクをBCに装着する	減点
BCを正しい向きに付ける。	
BCを取り付ける高さを確認する。	
BCに取り付けたベルトのゆるみを確認する。(2～3度振る)	
2) ファーストステージを装着する	減点
Oリングがついているか確認する。(発声)例：Oリングよし	
ファーストステージを正しい向きに取り付ける。	
中圧ホースをパワーインフレーターホースに取り付ける。	
ホース類がねじれていないか確認する。(発声)例：ホースねじれよし	
3) タンクのバルブを開ける	減点
バルブを開ける前に、圧力計を防爆弁が破裂しても安全な向き・持ち方にする。	
バルブを少々開け空気が流れたことを確認する。(発声)例：空気(エア)よし	
バルブを、全開する。	
バルブを、半回転程度ほど戻す。(戻す程度の判定は厳密にしない。教育的配慮)	
4) 各部をチェックする	減点
圧力計を確認する。(誤差は±10kgf/cm ² まで)(発声)例：残圧150	
BCについて、 吸気・排気の確認をする。	(吸気ボタンを押したか)
	(安全弁の確認をしたか)
	(排気ボタンを押したか・排気の程度は問わない)
レギュレーターを点検する。 (各2回以上確認)	(パージボタンを押したか)
	(臭気の確認をしたか)
	(マウスピースをくわえて吸気・排気したか)
オクトパスを点検する。 (各2回以上確認)	(パージボタンを押したか)
	(マウスピースをくわえて吸気・排気したか)
5) ウェイトベルトを装着する。(ウェイトは最低2kgはつけること)	減点
バックルを左手に持ち、ベルトの先を右手に持つ。	
ベルトを跨ぐようにして腰に乗せる。	
ベルトを装着する。(ゆるみのないよう上半身前傾姿勢のままバックルを止める)	
6) BCを装着する	減点
BCを背負い、肩紐を引く。	
BCの前部を着ける。 (タンクの脱落防止は採点に含めない)	(マジックテープをつけたか)
	(バックルをはめたか)
	(バックルのたるみをとったか)
7) ボディチェックをする	減点
レギュレーターの作動を2回以上確認	(発声)例：レギュよし
タンクバルブ「開」の確認	(発声)例：バルブよし
オクトパスの作動を2回以上確認	(発声)例：オクトパスよし
残圧確認(誤差は±10kgf/cm ² まで)	(発声)例：残圧150
BCの装着の確認	(発声)例：B.C装着よし
ウェイトの確認	(発声)例：ウェイトよし
小計	